
しのばず自然観察会より 2016-09 2016.10.02

2016年11月の活動 葛西臨海公園の自然観察

と き： 11月6日(日) 小雨実施

集 合： 午前10時 JR京葉線「葛西臨海公園」駅 改札前 緑の旗が目印

持ち物： 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物、

参加費200円

埋立地にある葛西臨海公園は、1985年から葛西沖開発土地地区画整理事業の一環として造成が着手され、1989年度にその一部約38ヘクタールがオープン。1994年4月には鳥類園ゾーンがオープンしました。水族園の先に広がる鳥類園ゾーンを中心に、観察会を予定しました。水辺の自然をお楽しみください。

上野公園の歴史としのばず自然観察会の活動成果を伝えるために・・・

フィールドである上野公園の歴史と現状、そこでのしのばず自然観察会の活動成果を伝えるために、これまでの野外観察の他に、土曜日に座学の学習会を計画することになりました。台東区の生涯教育講座から生まれたサークル「上野のお山を学ぶ会」とも相談しています。私たちの足跡を会内外で共有し後世へ伝えるために、積極的参画を期待します。

隔月くらいで土曜日の午後に2～3時間、資料やスライドを使って学び、できるだけ記録を残し、参加できなかった人にも、また次世代にも伝えられるようにしたいと考えています。上野彰義隊墓所に保存されてきた上野公園に関する資料や、しのばず自然観察会が行ってきた調査結果も見直し学び直したいものです。しのばず自然観察会代表の小川潔の遺言づくりにもなるかと思われませんが、多くの方々のご協力をお願いします。

「上野のお山を学ぶ会」の有志の意見では、11月下旬、上野の寛永寺建立前後の歴史の勉強から始めてはどうかとの意見が出ています。しのばず自然観察会では、10月2日の活動の折に相談し、具体化をしていきます。

2016年9月の活動 国分寺崖線めぐり より

9月の活動は、11日に国分寺崖線めぐりをしました。4年前と同じくあいにくの雨模様でしたが、7名が参加、集合地の国分寺駅に着くと雨が上がりました。駅前の殿ヶ谷戸庭園では、雨上がりの静かなたたずまいが、貸切りに近い感じでした。

東京経済大学沿いに崖下をたどると、大学の構内に入れるスペースができていて、「新次郎池」と呼ばれる地下水の湧出し口がありました。池の名は、かつての学長の名前だそうです。傾斜地の下の方のあちらこちらから水が出ていて、それらが集まる池の底に

は、巻貝の歩いた後の筋が何本もついていました。

野川沿いに少し歩いてから、貫井神社(弁天)へ。ちょうどお祭りをやっていました。ここも国分寺崖線のハケと呼ばれる湧水があるところで、神社の建物を取り囲むようにいくつかの湧き口が見られました。水を集めた池にはカワセミがいて、一同、近くで長い間見とれていました。

この日の最後は小金井市の滄浪泉園、ここも崖を用いた庭園です。入り口に、「省エネのため9月末まで入場無料」の掲示。家庭でクーラーを使うよりここで涼んでくださいとのこと。窓口で蚊よけの団扇と虫除けスプレーをお借りしました。ここも湧水をめぐる静かな空間でした。



湧水源(殿ヶ谷戸庭園) 貝の足跡(新次郎池) カワセミ(貫井神社) 滄浪泉園入り口

しのばず自然観察会および関連の今後の予定

10月9日(日) 不忍池の水鳥絵ガイド編集会議 10時谷中の作業所(午後まで)

10月30日(日) 午後 野鳥の会東京によるシンポジウム「長く自然観察・調査活動をすることの意義」をテーマに、しのばず自然観察会の小川潔も報告します。

11月26日(土) 日は仮 計画中 座学の会 上野の歴史 上野を学ぶ会と合同で

12月11日(日) 不忍池水鳥観察と個体数調査の練習

12月25日(日) 不忍池水鳥個体数調査

2017年1月8日(日) 上野公園・不忍池野外観察会

なお、12月の観察会はそれぞれの活動のあと、谷中の作業所でミーティングがあります。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2015年以前の会費未納の方もお忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。